

平成29年度第2回理事会議事録

1. 日時：平成29年7月22日（土）13：30～15：59
2. 場所：岸記念体育会館5階 504,505会議室
3. 出席者：
理事：総数26名中 松丸喜一郎 藤井優 田村恒彦 岸高清 袴田登喜造 溝部政司
永谷喜一郎 大野明敏 鍵山博 横山幸子 香西俊輔 生島賀寿也 平井宏治
田中敏夫 木場良平 三木容子 佐橋朋木 藤井彌 田中僚一郎 高橋信吾
田中辰美
以上出席21名
監事：総数2名中 石崎和男 阿部栄一郎 以上出席2名

田村専務が13時30分に理事21名出席で成立するとの宣言をした。

4. 議事録署名人：松丸喜一郎、藤井優、田村恒彦、石崎和男、阿部栄一郎
5. 松丸会長挨拶
松丸会長が、新体制で実質第1回の理事会になりますが、われわれの任期であるこの2年間は2020東京オリンピック・パラリンピックを控え日ラの歴史の中で大変重要な時期であろうと思います。これから委員会の方針やメンバーの紹介があると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。との挨拶があった。

<審議事項>

1. 各本部委員会方針と編成について
各委員会、本部の業務方針と委員編成について総務委員会については田村専務理事から、その他の委員会、本部については各委員長、各本部長より別添資料1のとおり説明があった。特に質疑はなく、議長が諮ったところ全員異議なく各委員会、本部の業務方針および編成について原案どおり承認した。
2. 業務執行役員の選任（追加）について
田村専務より別添資料2のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なく、佐橋朋木理事、源洋子理事の業務執行理事選任について承認した。
3. 参事の選任（追加）について
田村専務より資料1-改のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なく、河合光生氏、武川正一氏、三浦繁氏の参事選任について承認した。
4. 書面総会の実施について
田村専務より資料2-改のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なく、資料2-改のとおり麻植芳靖氏の理事選任、伊藤光長氏、野方浩昭氏、坂本剛二氏の正会員承認について書面総会を、8月11日を決議期日として実施することについて承認した。
5. ブロック拠点射撃場の指定および整備計画について
田村専務より資料3のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なく、資料3のとおり各ブロックの拠点射撃場、および北海道東北ブロックの石巻射撃場と九州ブロックの小江原射撃場の整備について資料3のとおり承認した。

6. 第2回東アジアユースエアガン大会選手派遣について

大野ジュニア育成委員長より資料4のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、東アジアユースエアガン大会の派遣について原案どおり承認した。

7. 第11期エリートアカデミー生選抜について

田村専務より資料5のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく、第11期エリートアカデミー生候補選手の選抜について資料5のとおり承認した。

8. 競技記録公認規程改訂について

溝部競技運営委員長より別添資料3のとおり説明があった。これに対し、三木理事より、おとなでも自由姿勢の種目が実施されるのか問い合わせもあり、はっきりさせるべきとの意見があった。溝部委員長より自由姿勢は小学生に限るとの明記をして公認種目とするとの回答があった。その後議長が（小学生に限る）との追記も含め諮ったところ、全員異議なく、エアライフルS40M、F40M（小学生に限る）、F40W（小学生に限る）、ビームライフルBRS40M、エアピストルAP40M、APF40M（小学生に限る）、APF40W（小学生に限る）の7種目について新設を承認した。

9. 段級審査規程改訂について

溝部競技運営委員長より別添資料4のとおり説明があった。香西理事より検定料は安くできないかの質問があり、溝部委員長ができないと回答した。その後議長が諮ったところ、いずれも全員異議なくBRF40、BRF20について5段、6段を受験可能とすることを承認した。

10. 射撃場の公認について

香西認定部会長より資料6のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ福井県警察学校のCP射撃場の公認について熊本県総合射撃場の電子標的への変更の報告について、いずれも全員異議なく承認した。

11. 公認手数料の減免について

溝部競技運営委員長より資料7のとおり説明があり、特に質疑は無く、議長が諮ったところ全員異議なく熊本県総合射撃場の電子標的公認手数料の減免を承認した。

12. 公認審判員の承認について

平井審判部会長より資料8-改のとおり説明があり、議長が諮ったところ全員異議なく、32名の地方公認審判員、10名の本部公認審判員について資料8-改のとおり承認した。

13. 記録の公認について

溝部競技運営委員長より別添資料5のとおり説明があった。その中で、溝部委員長より資料の1件の誤記載の削除、3件の追記の訂正（正誤表を参照方）があった。その後訂正も含め議長が諮ったところ全員異議なく20件の日本記録を承認した。

14. NECデジタルピストル公認適用期限と無償譲渡について

溝部競技運営委員長より別添資料6のとおり説明があった。その中で三木理事より指摘があり、溝部委員長が機材の無償譲渡について不要の場合の廃棄する者は都道府県協会とするとの訂正をした。その後議長が諮ったところ全員異議なく、訂正箇所も含め、NECデジタルピストル

機器の公認期間終了までの競技会、段級審査での使用、検定作業の10月末終了、都道府県協会および関西学連への無償譲渡を承認した。

さらに、田村専務より都道府県ラで不要となった機材は関西学連に譲渡をいただきたい旨のお願いを事務局から各都道府県に伝えるとの発言があった。また鷺見参事よりデジタルピストル競技会用の映像システムの活用を図るべきとの発言があり、この件は別途活用を考えるとの田村専務理事の発言があった。

<報告事項>

1. ISSF 総会報告

6月26日臨時総会での、2020東京五輪の種目変更についての審議結果について出席した松丸会長より下記の報告があった。

その中で、加盟NFより決定プロセスについてISSFの総意としてまとめるには、もっと多くのNFの意見を聞くべしとの異論が出た。一方IOCの議決後で差し戻しとなると射撃競技から3種目を外す危険性があるとの発言がIOC担当部長からあり、再議決するにはいたらなかった。ただし2020五輪後にもう一度今回、外れた種目もテーブルに上げて多くのNFが参加して再議論しようとのことになった。

2. 委員会報告：

1) 総務委員会

- ・加盟団体からの決算・事業報告提出義務の遵守について

田村専務より、加盟団体守則の7条の報告が47都道府県のうち数県からしか提出がなく、また、会則等の提出もお願いしたが、提出の無い県が多い。9月の理事会までに提出いただくべく各ブロック選出理事にチェックしていただくようお願いしている。との報告があった。

石崎監事より拠点射撃場の指定の補助金についても報告をきちんと出して確認して欲しいとの発言があった。

- ・ライフルスポーツへの大会成績記載対象見直しについて

田村専務よりライスポでの限られた誌面の有効活用をはかり、充実した記事を優先して載せたいとの考え方で大会記録をG1、G2までの掲載対象とし、G3+以下の記録はホームページで見ていただく体制にしたいとの報告があった。それに対し袴田常務より10数年前までは記録集の冊子にしていたものをライスポにした経緯もあり、日本記録のG3+まではなんらかの印刷物にしてほしいとの発言があった。松丸会長よりG3+は事業報告に入れる形にすることで対応したいとの発言があった。

2) 推薦委員会報告

- ・推薦審査結果について

袴田推薦委員長より別添資料7のとおり5月6月の推薦委員会での推薦承認状況について報告があった。

- ・優先推薦を付与されたAP所持者の2、3回目推薦条件について

袴田推薦委員長より別添資料8のとおり報告があり、APの優先推薦を本年10月以降受けた選手の2回目3回目更新時のジュニア育成アスリート指定大会への参加義務化を強める案を9月の次回理事会に諮りたいとの説明があった。

3) 国体委員会報告

- ・愛媛国体、福井社会人大会の中央派遣役員、第74回国体CP射座数要望について

鍵山国体委員長より別添資料9のとおり報告があった。

4) 選手強化委員会報告

田村選手強化委員長より別添資料10のとおりWCミュンヘン大会、ガバラ大会結果について報告があった。

5) ジュニア育成委員会報告

- ・ISSF ジュニア世界選手権ズール大会結果報告

三木ジュニア育成副委員長より別添資料11のとおり報告があった。

3. 会務報告

- ・東アジアユース予算見込み等（岸高事務局長）

岸高事務局長より、今回はミックスマッチをエキシビションで行なう。またアジアエアガンをにらんで広域で役員を招集し、国数が増える分バスの台数が増えるなどの要因があり予算的に当初よりも150万円程度増額となる見込みであるとの報告があった。

- ・和光市ふるさと納税実績（岸高事務局長）

岸高事務局長より7月15までに皆様のご協力で目標の100万円に到達したとのこととお礼と報告があった。

- ・アジアエアガン大会

岸高事務局長より6月23日に警察ミーティング、6月27日に部長会議を実施し、7月19日に経産省短期間許可依頼に行き、7月の28日にTD視察を予定しているとの報告があった。

- ・大会スポンサー対応

岸高事務局長より主要大会での広告スポンサーのロゴを入れたボードや広告看板を掲示するようにしていますのでご覧下さいとの案内があった。

- ・日本記録のホームページ掲載について

袴田常務より、理事会承認前であっても「未承認」などの注釈つきで日本記録が更新されたものはホームページの日本記録表に出してほしいとの発言があり、松丸会長がそのとおりにすると答えた。

15時59分議長が閉会を宣言した。

平成29年7月28日

議事録署名人

議長、代表理事（会長）松丸喜一郎 印

代表理事 藤井優 印

代表理事 田村恒彦 印

監事 石崎和男 印

監事 阿部栄一郎 印

平成29年度第2回理事会資料訂正正誤表

平成29年7月22日(土)13:30～15:59に開催された公益社団法人日本ライフル射撃協会平成29年度第2回理事会の審議の中で、訂正があり訂正内容も含め議決、報告された資料の正誤内容は下記のとおり

<審議事項>

8. 競技記録公認規程改訂について

1) 審議結果による追記

別添資料3の「記録公認種目の追加 競技規則集第1巻2016版132Pへの追加」について表の種目中の、エアライフルF40M、F40W、エアピストルAPF40M、APF40Wについては、それぞれ「(小学生に限る)」が追記された。

13. 記録の公認について

1) 誤記載の削除

別添資料5 10mARS60JM(ファイナル)岡田直也選手分の記載は誤りのため削除。

2) 追記

- ① 10mARS60M631. 3点 [新] 遠藤雅也(日本大学)2017.05.19 ミュンヘン/ドイツ ISSFWCミュンヘン大会
- ② 10mARS60JM631. 3点 [新] 遠藤雅也(日本大学)2017.05.19 ミュンヘン/ドイツ ISSFWCミュンヘン大会
- ③ 10mARS60JM団体1873. 4点 [新] 日本チーム(島田、遠藤、清水)2017.06.26 ズール/ドイツ ISSFジュニア世界選手権 (世界新記録)

14. NECデジタルピストル公認適用期限と無償譲渡について

1) 審議結果による追記

別添資料6の3. 機材の無償譲渡についての3行目 不要である場合は の後に「都道府県」を追記。

以上